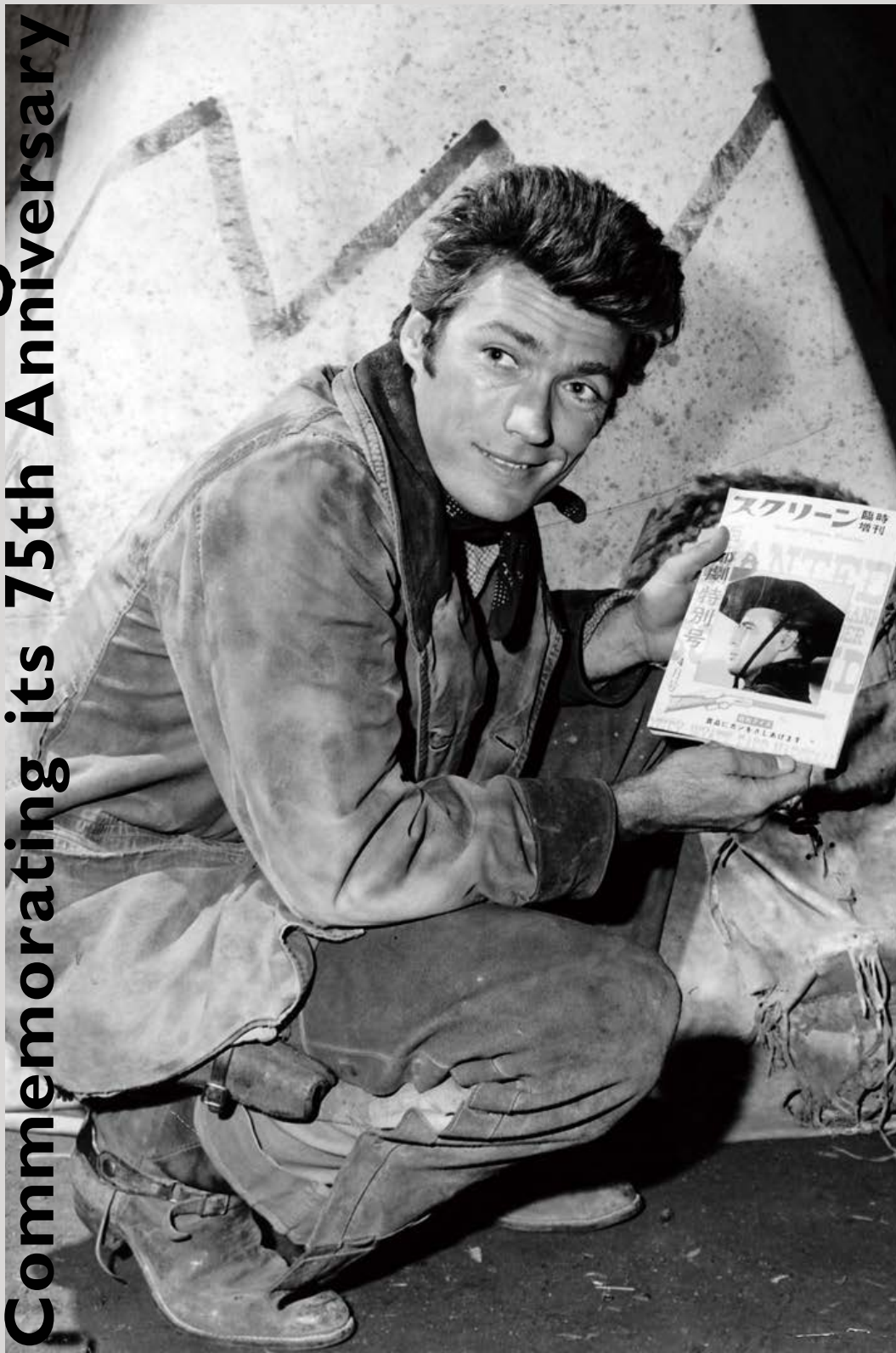


Hollywood Stars in SCREEN Magazine Commemorating its 75th Anniversary



© Kindaiteigasha
クリント・イーストウッド(1961年頃)

創刊75周年記念

展覧会

SCREENを飾った ハリウッド・スターたち

2021.4.13 tue - 7.18 sun *5月25日(火)~28日(金)、7月6日(火)~7日(水)
および月曜日は休室です。

国立映画アーカイブ展示室(7階)

開室時間:午前11時~午後6時30分(入室は午後6時まで) *会期および開館時間等に変更がある場合はホームページでお知らせします。

料金:一般250円(200円)/大学生130円(60円)/65歳以上、高校生以下及び18歳未満、障害者(付添者は原則1名まで)。

国立映画アーカイブのキャンパスメンバーズは無料 *料金は常設の「日本映画の歴史」の入場料を含みます。*()内は20名以上の団体料金です。

*学生、65歳以上、障害者、キャンパスメンバーズの方は入室の際、証明できるものをご提示ください。*国立映画アーカイブが主催する上映会の観覧券(半券可)をご提示いただくと、1回に限り団体料金が適用されます。*2021年5月18日(火)「国際博物館の日(毎年5月18日)」は、無料でご覧いただけます。

*雑誌「SCREEN」をご提示いただくと、1冊につき1名様に限り団体料金が適用されます。

主催:国立映画アーカイブ、近代映画社

国立映画アーカイブホームページ www.nfaj.go.jp/ Twitter: @NFAJ_PR Facebook: NFAJPR Instagram: nationalfilmarchiveofjapan

【新型コロナウイルス感染症拡大予防のため】マスク着用のない方(2歳未満は除く)、体温が37.5℃以上の方は入館をお断りいたします。

「SCREEN」を飾った歴代のハリウッド・スターたちのまばゆい輝き!



©Kindaigisha



図版(左上から右下)
浅草国際劇場を訪れたクラーク・ゲーブル(1954年)
エリザベス・テラーとユール・プリンナー(1961年)
『噂の二人』撮影中のオードリー・ヘプバーン(1961年)
初来日時のジョディー・フォスター(1977年)
スティーブンス・シルバークとハリウッド通信員ヤニ・ベガキス(1986年頃)
「スクリーン」1946年5月創刊号
「スクリーン」1947年2月号(月刊化第1号)
マリリン・モンロー来日記事(「スクリーン」1954年4月号)
チャールトン・ヘストンのサイン
第29回ヴェネチア国際映画祭「国際映画図書館」サンマルコ獅子賞楯
ジェームズ・スチュアートのサイン入りポートレート



ジョン・ウェイン、エリザベス・テラー、ジェームズ・スチュアート、オードリー・ヘプバーン、ステイーヴ・マックィーン、クリント・イーストウッド、ジョディー・フォスター、マイケル・J・フォックス、ジョニー・デップ、レオナルド・ディカプリオ……。日本の映画ファンの歩みは、こうした数限りないアメリカ映画のスターたちを抜きにして語ることはできません。

外国映画、とりわけハリウッドのスター俳優に取材し、常に最新情報を日本に送り届けてくれる近代映画社の月刊誌「SCREEN」は、この2021年5月に創刊75周年を迎えます。本国から供給される情報や写真に頼った画一的な記事をよしとせず、ハリウッドに自社の通信員を置いてスターたちの生の声を伝え続けている「SCREEN」は、日本の外国映画ジャーナリズムにおいても独自の地位を占めてきました。

この展覧会では、1990年代までを対象に、同誌が撮影現場や映画祭などで独自に収めた華やかなスターフォトや、スターの来日を記念して撮影された貴重な写真を通じて、日本の映画ファンが注いできた情熱の系譜をたどります。また歴代の号の誌面を紹介するとともに、半世紀近くにわたって同誌に貢献したハリウッド通信員ヤニ・ベガキス氏の功績もフィーチャーします。

※本展覧会では、人名のカタカナ表記は基本的に「SCREEN」誌で採用された表記を使用します。
※本展覧会で取り上げる俳優には、ヨーロッパ映画などハリウッド以外で主に活躍した俳優も一部含まれます。

John Wayne, Elizabeth Taylor, James Stewart, Audrey Hepburn, Steve McQueen, Clint Eastwood, Jodie Foster, Michael J. Fox, Johnny Depp, Leonardo DiCaprio... One cannot discuss the evolution of Japanese movie fandom without also considering the influence of countless American film stars.

Kindaigisha's SCREEN is a monthly periodical that provides the latest on foreign films and particularly Hollywood stars. It will celebrate the 75th anniversary of its first issue in May 2021. Not content to publish cookie-cutter articles reliant on secondhand information and photographs from stars' home countries, SCREEN gathers its stories directly by basing its own correspondents in Hollywood. It thus occupies a unique position in Japanese foreign film journalism.

This exhibition will trace the "genealogy" of Japanese movie fans' passions up to the 1990s by presenting SCREEN's gorgeous celebrity photographs, many taken at photoshoots and film festivals, as well as valuable images chronicling stars' visits to Japan.

While exhibiting SCREEN over the years, we will also highlight the achievements of Yani Begakis, a Hollywood correspondent who has contributed to the magazine for nearly half a century.

*Some of the featured actors were mainly active in European films and other non-Hollywood pictures.

展覧会の内容

※関連イベントを実施する際は、ホームページでお知らせいたします。

「SCREEN」75年の歴史から

貴重な創刊号やスターの動向を伝える誌面を紹介。思い出の表紙の数々も展示。

「SCREEN」のカメラがとらえたスターたち

撮影現場や来日時に撮影されたスターフォトの展示に加え、名物記者ヤニ・ベガキスの活動を中心にハリウッド通信員の仕事を紹介。

ハリウッド・スターからのおくりもの

「SCREEN」と読者に贈られたサインやポートレート写真を展示。

マスク着用のない方(2歳未満は除く)、体温が37.5℃以上の方は入館をお断りします。

【当館の新型コロナウイルス感染拡大防止策】

※来館者全員への検温を実施。 ※館内各所に手指用消毒液を設置。 ※清掃・消毒を強化。 ※展示室内の換気を強化。 ※スタッフはマスク・手袋等を着用して対応。 ※受付等の対面場所に飛沫ガードの設置。

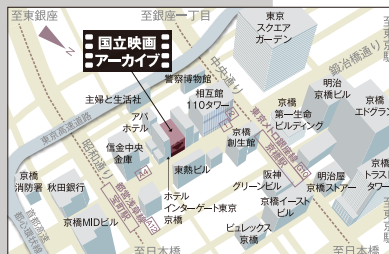
【ご来館の皆様へのお願い】

※発熱や風邪などの症状がある方は、来館をお控えください。 ※館内ではマスクを常時着用ください。 ※館内で体調を崩された場合は、スタッフにお知らせください。 ※こまめな手洗いや手指の消毒にご協力ください。 ※入退場やご観覧の際は、互いに適切な距離を保つようお願いいたします。 ※展示室内での会話はお控えください。 ※ロビー等での飲食は、蓋の閉まる飲み物以外は禁止にさせていただきます。 ※感染発生時の入館者追跡のため、ご自身で入館日時の記録をお願いします。 その他、感染症防止に関する当館の指示をお守りいただけますようお願いいたします。



国立映画アーカイブは長瀬映像文化財団の支援を受けています。

〒104-0031 東京都中央区京橋3-7-6
お問い合わせ: ハローダイヤル 050-5541-8600
国立映画アーカイブホームページ
www.nfaj.go.jp



交通

- ▶ 東京メトロ銀座線京橋駅下車、出口1から昭和通り方向へ徒歩1分
- ▶ 都営地下鉄浅草線宝町駅下車、出口A4から中央通り方向へ徒歩1分
- ▶ 東京メトロ有楽町線銀座一丁目駅下車、出口7より徒歩5分
- ▶ JR東京駅下車、八重洲南口より徒歩10分